

地域魅力向上・発信事業計画に基づく事業計画書

1. 基本情報

自治体名	他市町村との連携	事業番号	事業名			
只見町		A-1	自然首都・只見（魅）力発信事業			
事業実施年度	当該年度総事業費	経費区分（該当区分に○を入力）				
R8年度	3,373千円	①情報発信事業			②外部人材活用	
事業費	左記 事業費のうち 国費負担分	i 風評動向調査	ii 体験等企画実施	iii 情報発信コンテンツ 作成	i 企画立案のための外 部人材の活用	ii 地域の語り部の育成
2,000千円	1,000千円			○		

2. 風評等の現状や課題、これまでの取組

自治体が抱える風評等の現状について
2011年の東日本大震災による原子力発電所の事故による影響が未だに残り、発災以前の入れ込み客を取り戻せていない。本町の観光入れ込み客数は次のとおり。H22年度223,184人、R3年度128,975人、R4年度202,195人、R5年度204,068人、R6年度202,036人（集計 只見町）
上記の現状の原因となる課題について
未だに日本国内や海外では風評被害の影響があり、さらに令和5年8月のALPS処理水放出により特に中国等からの影響が大きくなり、本町においても輸出規制などの実被害が発生している。 <ul style="list-style-type: none"> ・観光客や交流人口の減少 ・町内の特産品に引き続き出荷制限がある
上記の課題に対するこれまでの自治体の取組について（自治体独自の取組を含む）
<p>1 本事業以外の風評被害払拭のための取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・風評被害払しょくのための米全袋放射線量検査、食物放射線量検査 ・町HPや紙媒体による情報発信 ・町内や県内など周辺地域向けの情報発信・交流・観光人口招致。（大都市圏には情報発信の機会が少ない） <p>2 本事業の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度：プロジェクトマップとオンラインツアー及び復興PRを実施 ・令和5年度：本事業によるプロジェクトマップとオンラインツアー、モニターツアー、ファンコミュニティ形成等復興PRを実施 ・令和6年度：プロジェクトマップとオンラインツアー、広域ラジオ放送・大型LEDビジョンによるPRを実施

・令和7年度：プロジェクションマッピングとオンラインツアー、広域ラジオ放送によるPRを実施

上記の取組における成果について

広域的なラジオ放送により首都圏を中心に福島県只見町の歴史・文化・食・自然環境などの魅力と安全性を広くPR

<成果>

- ・令和6年度 計5回 1回あたり2分00秒 CM30本 1本あたり20秒【聴取率 首都圏（6局）ラジオ聴取率調査において 23.5%を獲得し首位】
- ・令和7年度 計4回 1回あたり6分30秒 【聴取者数 延80万人】

福島県只見町において只見ふるさとの雪まつり会場でプロジェクションマッピングを実施し来場者へ本町のPRや雪国の素晴らしさを体感してもらう。

<成果>

- ・令和4年度 イベントへの参加者が27,000人
- ・令和5年度 イベントへの参加者が29,000人
- ・令和6年度 イベントへの参加者が16,000人（大雪の影響による減）
- ・令和7年度 イベントへの参加者が25,000人

福島県只見町の魅力を発信し、実際に町を訪れやすくなるよう旅マエに繋げるため、四季のオンライン・リアルモニターツアーの実施、SNSファンコミュニティ形成

<成果>

- ・令和4年度 オンラインツアー4回、SNSコミュニティ形成PR
- ・令和5年度 オンラインツアー4回、リアルモニターツアー2回、SNSコミュニティ形成PR
- ・令和6年度 オンラインツアー4回、インフルエンサーモニターツアー1回、町関連映画を活用した広報周知、SNSコミュニティ形成PR
- ・令和7年度 オンラインツアー2回、ショートドラマ作成 計8話、SNSコミュニティ形成PR

<目標達成状況>

目標：第2期只見町総合戦略に基づき、総合的に令和7年度における観光入込客数300,000人（平成22年度比の約135%）

令和6年度における観光入込客数202,036人（只見町調べより）

未達成。（達成度：67%）

3. 事業内容の詳細

今年度の具体的な取組内容 ※以下の項目に沿って記載をお願い致します。

1. 広域ラジオ放送事業

①実施期間：令和8年5月～令和8年12月

②実施体制：単独

③実施場所：首都圏、九州地方

④概算費用：2,000千円

⑤実施内容：ラジオ放送5回（6分30秒×4回、4分×1回）

J-wave「PLENUS RICE TO BE HERE」は、日本の食文化を通じて育まれてきたその地域ならではの知恵を紐解き、各地の良さを伝え交流を促進する2023年4月より継続する人気ラジオ番組である。パーソナリティの山口謡司氏が実際にその土地を訪れ、町民に直接取材し、その土地ならではの食（じゅうねん油など）、自然（ダム、雪、など）、文化（行事など）、言葉（方言など）、といった町の魅力を4日間連続して丁寧に情報発信する。リスナーには日本各地の文化や歴史に関心がある方、またパーソナリティを務める山口氏のファンも多く山口氏はその地域とリスナーを繋げるパイプ役をも担っている。

また、今回は山口氏がパーソナリティを務める番組である、長崎県のはっぴい！FM（佐世保）での放送を試みる。エリア、放送日時、を変えて情報発信することでより多くの方に町の魅力を発信し、福島県只見町を身近に感じていただくとともに風評被害払拭に繋げる。

⑥「復興・創生に向けた取組や食品等の安全性等の情報」の具体的な発信内容：

放送の中で福島県の復興状況の話題に触れ、多くのリスナーに情報を届ける。

⑦「地域の魅力に関する情報」の具体的な発信内容：

地域の正確な情報を発信するため、ラジオパーソナリティに只見町に取材に来ていただき、実際に地域の方の話を聞き、生活や自然体験していただくことで、よりリアルな放送内容としていく。

4. 事業における目標等

今年度におけるアウトプット ※定量的な目標に限る	今年度におけるアウトカム ※定量的な目標に限る
広域ラジオ放送により、只見町の復興状況及び地域の魅力に関する情報発信を計5回実施（首都圏4回、九州1回）	・首都圏の放送想定リスナー数（延べ） 目標：80万人以上（1回あたり20万人） ・はっぴい！FM（佐世保）リスナー数（延べ） 目標：3万人以上
長期的な目標 ※1つ以上は定量的な目標を設定	長期的な目標の現在の進捗状況 ※達成度合いも記載（○%）
・観光入込客数の増加（定量的） これらにより町の観光入込客数の増加目標の30万人／年の達成につながる。 ・観光地としての認知拡大（定性的） 目標：イベントがきっかけで、只見町が観光地として認知され、観光のピークシーズンに多くの観光客を引き寄せる。	令和6年度における観光入込客数202,036人